

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：西区中央もえぎ保育室	種別：地域型保育事業	
代表者氏名：施設長 福田 美雪	定員（利用人数）： 9名（11名）	
所在地：〒220-0051 横浜市西区中央2-44-3 ライオンズマンション大前西横浜101		
TEL：045-321-9666	ホームページ： https://moegi-ikuenkai.ed.jp/nishikuchuo/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2015年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人 育援会		
職員数	常勤職員：5名 非常勤職員： 6名	
専門職員	（専門職の名称） 保育士 8名 栄養士 1名（内管理栄養士1名） 調理員 1名 家庭的保育者 1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室(0～2歳児室) 1室 (31.27㎡) 沐浴室 1室 調理室 1室 トイレ 1室 事務室 1室 職員休憩室 1室	建物の構造：鉄筋コンクリート造り 5階建ての1階部分 建物延床面積：61.38㎡

③ 理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <p>ひとりひとりの豊かな成長を促す為の落ち着いた雰囲気と保健的で安全な環境を提供する</p> <p>*心地よく無理のない生活リズムの中で生活面、情緒面の安定を図ります。ひとりひとりを大切に、急がせることなく個性に合わせた成長の手助けをしていきます</p> <p>*子育ての情報発信、家庭との連携により、子どもにとってより良い環境作りに努力します</p> <p>*安全と衛生には特に注意しお子さまを大切にお預かりします</p> <p>【保育方針】</p> <p>*健康的で安全な環境を作り常に心身の状態を観察し、快適に生活できるようにする</p> <p>*ひとりひとりの子どもの生活リズムを重視して生理的欲求を満たし生命の保持と</p>
--

生活面情緒面の安定を図る
 *保護者との信頼関係を気づきながら保育を進めるとともに、保護者への支援に努める

【保育目標】
 豊かな感性を育み、ヒトを大切にしようとする気持ちを持つ
 主体的に判断し行動できる子ども
 ～好奇心を持ち、様々な事を楽しむことのできる心～

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】
 西区中央もえぎ保育室は、相模鉄道本線西横浜駅から徒歩8分、京浜急行本線戸部駅から徒歩7分の小規模保育事業B型施設で、園舎はマンションの1階にあります。運営法人は特定非営利活動法人育援会で、2015年4月に開園し、現在、0～2歳までの11名（定員9名）が在籍しています。

近隣には大小様々な公園が散在し、自然も多く、四季の移り変わりを感じられる住宅街にあります。近くには商店街もあり、ハロウィン等のイベントの際には、協力をお願いし、共に楽しむことができます。卒園後の受け入れ協力の連携施設として、桃の木保育園、ばらの幼稚園があり、コロナ禍終息に向け、今後、行事や外遊びで徐々に交流を再開する予定です。

【園の特徴】
 地域型保育事業の中でも小さい規模で、ほぼ1日中、0歳児から2歳児までと一緒に生活を送っています。家庭に近い落ち着いた保育環境で、子どもたちはゆったりと過ごしています。保育者との程よい密着性により育まれた愛着により、安定した情緒の中で、社会性、協調性、忍耐力等、乳児期に獲得したい基礎が培われています。

保護者との連携を密にし、ホームページやアプリを活用して、子どもの様子をわかりやすく発信しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年4月18日（契約日） ～ 2023年12月25日評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	一 回（ 一 年度）

⑥ 総評

◇特長
 1. 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育
 少人数保育の良さを生かし、全職員が子ども一人ひとりの発達状況や家庭環境を把握し、家庭に近い落ち着いた保育環境の中で、子どもが安心感や満足感を得て、意欲的に過ごせるように、環境を整えています。愛着関係の強い職員がそばに寄り添い、気持ちを言葉にして子どもに伝えるなど、密に関わるようにしています。

自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちを受容し、表情やしぐさから思いを汲み取り、状況を丁寧に見極めたうえで代弁しています。職員が先読みしすぎないように、「待つ」ことを大切にし、子どもが自分の気持ちを表現できるように、担任だけでなく全職員で見守り、援助しています。

2. 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助

基本的な生活習慣の習得にあたっては、身の回りのことに興味を持ち、その子どもに合った時期やペースで進められるよう、一人ひとりに応じた援助を行なっています。子どもが人形を着替えさせるのを見守ったり、職員が子どもに「こうするんだよ」と見本を見せたりすることで、「自分でできるよ」と、子どもたちの達成感や自信につながるようにしています。

職員は子どもが身の回りのことを自分でできるように着替えやすい位置に置いたり、洗面台に台を置いたりしています。保護者に対しても子どもが着脱しやすい衣服のサイズや素材を伝えるなど、子どもが身の回りのことをやりやすくなるように環境を整え、援助をしています。

3. 職員間の円滑なコミュニケーション

施設長は、少人数保育で全職員が全員の子どもの保育する中で、職員間の良好なコミュニケーションを図ることが、大切であることを常に考えています。月1回の職員会議後に職員は、「今日の会議で印象に残ったこと、疑問に思ったこと、不明なこと、次の会議で話し合いたいこと、月の自由テーマ」について記載した「振り返りシート」を施設長に提出しています。施設長は、職員の意見等と施設長の回答やコメントをまとめて、職員連絡ノートに貼付しています。自由テーマ「〇〇先生の素敵なおところ」を「きずなスイッチ」と題して公表した際には、それぞれがお互いを知るうえで貴重なものとなりました。

◇今後期待される点

1. 中・長期計画を反映した単年度事業計画の策定と実施状況の評価の明確化

「中長期の事業計画（2023～2025年度）」を策定し、「保育内容の充実」「人材育成」「保護者支援」等、課題や問題点の解決に向けた具体的な内容を設定しています。単年度事業計画は、行事中心の計画となっており、中・長期計画を踏まえて年度内で取り組む課題を明確にして策定することが望まれます。また、実施状況の評価が行なえるよう、達成状況や担当者の設定等を行なうことが期待されます。

2. プライバシー保護に配慮したマニュアルの作成の検討

子どものプライバシーに配慮した保育を行ない、水遊び等のマニュアルにはプライバシー保護に関する留意事項や配慮事項を記載しています。さらに、子どもや保護者のプライバシー保護についての姿勢や責務、配慮事項等を明確にした、プライバシー保護に特化したマニュアルの作成について、検討が期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

西区中央もえぎ保育室

第三者評価を初めて受審し、評価していただく中で改善をした方が良い部分を知ることが出来ました。また、自己評価票を付けるため、職員一人一人が自身の保育を振り返り、全体で共有し考える機会となった事や、マニュアルについて再検討をすることが出来た事で、これからより質の高い保育を提供できるよう努力していこうと全体で感じる事が出来ました。

保護者の皆さま、アンケートのご協力をありがとうございました。良い評価を頂いたので、良い点を益々伸ばしていきたいと思っております。改善すべき点は、改善していきたいので、必要スキルや知識を身につけていきたいと思っております。評価機関の方々

も、寄り添い細かく理解してくださり、ありがとうございました。

これからも、園児・保護者・職員・地域の皆さまが、笑顔で安心して過ごせるような保育室であるために、職員一同協力して取り組んでいきたいと思いをします。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり